

## 【7月7日第54回対策本部会議決定事項(修正「大阪モデル」について)】

◆「まん延防止等重点措置」・「緊急事態措置」適用区域に指定・解除される場合は、対策本部会議を開催し、ステージ移行の可否を決定する。

### 【「非常事態」(赤色信号)の状況】

	非常事態解除の目安	9/20	21	22	23	24	25	26	27	28
病床使用率	7日間連続50%未満	54.4%	55.5%	41.8%	38.6%	40.3%	34.1%	35.3%	36.1%	
重症病床使用率	7日間連続60%未満	63.4%	59.7%	54.1%	54.1%	52.5%	52.8%	52.8%	47.8%	
	上記全てが目安に達した場合	—	—	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	



医療のひっ迫状況は改善傾向にあることを踏まえ、緊急事態措置解除後、まん延防止等重点措置が適用されない場合は、大阪モデルに基づき、非常事態(赤色信号)を解除し、警戒(黄色信号の点灯)とする。(適用日 10月1日)

ただし、以下の状況を踏まえ、新規陽性者等が再び増加傾向となり、非常事態(赤色信号)の目安に到達する場合は、直ちに本部会議を開催し、非常事態(赤色信号)へのステージ移行を決定するものとする。

(非常事態の目安:新規陽性者数(直近1週間の人口10万人あたり25人以上。約315人/日)、病床使用率50%以上、重症病床使用率60%以上のいずれかが目安に達した場合)

#### <状況>

- 緊急事態措置解除(6/21)後、まん延防止等重点措置適用期間中に、短期間で感染が急拡大したこと。  
(見張り番指標が感染拡大を感知(7/8)、緊急事態措置再適用(8/2))
- 新規陽性者数や重症患者・軽症中等症患者数が第四波収束時相当まで十分に減少していないこと。
- 行楽やハロウィンなどのイベントなどによる感染機会の増加が見込まれること(昨年度は、第三波が10/10~発生)。
- 希望者へのワクチン接種がほぼ完了する11月末までは、感染急拡大の防止の徹底が必要であること。